

第20回 横浜市まちづくり問題研修会

地震から学ぶ建物の耐震性 ～熊本地震を踏まえて～

まだまだ記憶に新しい「熊本地震」。震度6以上の揺れが2回起こるという前例ないこの地震は、多くの人的・物的被害をもたらしました。特に建物に関しては、新耐震基準をクリアした木造家屋が倒壊するなど、耐震性の問題を大きくクローズアップさせました。また、建物の倒壊は免れたものの、非構造部材が破壊された結果、建替を余儀なくされた家屋等があり、命を守ることから**生活再建を視野に入れた耐震性**の必要性も注視されます。

本研修では、地震大国日本の被害の歴史と、それを克服するために実施された耐震基準・規定の遷り変わりを概説します。そして、熊本地震の実地写真を含む最新の調査データや、海外事例、東日本大震災の状況も分析し、「**建物の耐震性とはいったい何なのか**」を解きほぐしていきます。**皆様方のご参加を、心よりお待ちしております！**

日 時 平成29年2月23日（木） 15:00～16:30

講 演 「地震から学ぶ建物の耐震性」

～熊本地震を踏まえて～

講 師 東京大学地震研究所 災害科学系研究部門
准教授 楠 浩一 先生

（講師略歴）

1997年東京大学大学院博士課程修了。東京大学生産技術研究所助手、国土交通省建築研究所研究員を経て、2000年には独立行政法人建築研究所主任研究員就任。その後、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校に派遣され、2006年横浜国立大学大学院工学研究院准教授、2014年より東京大学地震研究所災害科学系研究部門准教授。



会 場 神奈川県建設会館2階講堂
（横浜市中区太田町2-22）

主 催 横浜市建築局、
一般社団法人横浜建設業協会、
横浜市建築設計協同組合

